「アスベスト」に関するアンケート　リサーチプラン

1. 調査の背景と目的

　大阪府では、アスベスト（石綿）による健康被害が生じることが無いよう、関係業界団体、行政機関等と連携し、アスベスト飛散防止について取り組んでいる。

平成30年の大阪北部地震や台風第21号により大阪府内では多くの建築物等が損壊した。この時は、アスベスト飛散事例は見られなかったが、アスベスト含有建築物が損壊した場合、周囲へ飛散するおそれがある。

このような事態に備え、現在の建物解体時における飛散防止の規制指導を中心とした取組みに加え、災害時のアスベスト飛散を未然に防止するための取組みを検討することを目的に本調査を実施する。

1. 調査（検証）項目

仮説　アスベストのイメージやアスベスト問題の認知度は、年代によって差がある

1. 調査対象

国勢調査結果（平成27年）に基づいた、性・年代・居住地（４地域）の割合で割り付けた、18歳以上の大阪府民1,000サンプル

1. 質問項目

予備質問　４問

SC1　年齢（NA）

　　SC2　性別（SA）

　　SC3　都道府県（SA）

SC4　市町村（SA）

本質問　15問

Q1　アスベストに対するイメージ（SA）

Q2　アスベスト建材を見た経験の有無（SA）

Q3　アスベスト問題の認知（SA）

Q4　アスベストが重篤な疾病の原因となることの認知（SA）

Q5　アスベスト建材が使用されていると思う建物（MA）

Q6　【Q5わからない以外】アスベストが飛散する可能性について不安になる場面（MA）

Q7　災害時の建築物からのアスベスト飛散について考えたことがあるか（SA）

Q8　住んでいる住居の所有状況（SA）

Q9　住んでいる住居の種類（SA）

Q10　住んでいる住居がいつ建てられたか（SA）

Q11　住んでいる住居のアスベスト建材使用状況の把握（SA）

Q12　【Q11　把握している】住んでいる住居のアスベスト建材の有無（SA）

Q13　【Q12　アスベスト建材を使用しているが除去していない】除去を行わない理由（MA）

Q14　【Q11　把握していない】アスベスト建材の使用状況を把握したいか（SA）

Q15　【Q14　把握したい】アスベスト建材の使用状況を調査していない理由（MA）

1. 検証方法

仮説　SC1×Q1、SC1×Q3、SC1×Q4